

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■器具のお手入れ △ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- LEDの汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	

製品・お取り扱いなどのご相談は		修理・アフターサービスのお問い合わせは	
お客様相談室		サービスセンター	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話  0570-055123	ナビダイヤル (全国共通番号)	電話  0570-015123
受付時間：9:00~17:30 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。		FAX  0570-025123 受付時間：9:00~17:30 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。	
FAX 072-986-5036			

- ナビダイヤルにかからない場合は、「お客様相談室」☎072-986-5081にお電話願います。
- ご注意：所在地、電話番号、受付時間などの変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2016年4月現在)

愛情点検		★長年ご使用の照明器具の点検を！	
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や痛みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	 ご使用 中 止 故障や事故防止のため、電源スイッチを 切り、必ず販売店に点検、修理を依頼し てください。

	安全に 関する ご注意	●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)	
		●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。	

コイズミ照明器具 保証書	
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数など)による故障及び損傷 (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	
＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。 ※This warranty is valid only in Japan.	
保証期間(お引き渡し日より) 本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間 取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	
お買上年月日	
お客様	お名前
	ご住所
	電話 ()

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型 番 AU42275L・AU42276L

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	 アース工事	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。		アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
 分解禁止	このような場所には取付けないでください。 土壌のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。  湿気の多い場所 振動や衝撃の多い場所 傾斜のある場所 不安定な場所 冠水のおそれがある場所	 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない てください。 →やけどの原因になります。	 禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの 取付けや、器具の近くにストーブなどの高温の ものを置かないでください。また、燃えやすい ものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
	 禁止		ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。
	ポール内に水がたまらないようにしてください。 →絶縁不良による感電および腐食によるポール 折れの原因になります。		

■定格

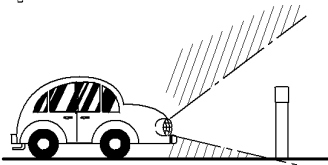
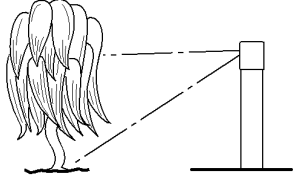
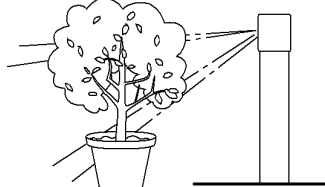
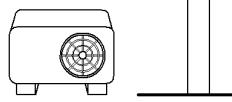
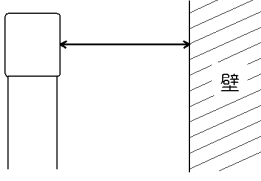
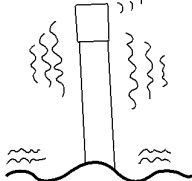
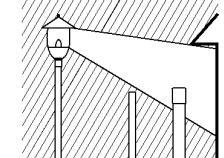
型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU42275L・AU42276L	AC100V	0.16A	7.9W	LED

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

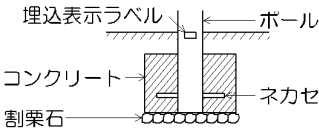
■施工前の確認

1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取外すか、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- 下図のような場所には取付けない。
誤動作の原因になります。

車のヘッドライトなど、強い光が直接あたる場所には取付けないでください。 	風などでよく振れる植物などがある場所には取付けないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。 
エアコンの室外機の近くには取付けないでください。 	壁から1.5m以上離して取付けてください。 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。 
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。気象条件によりバラツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明があたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。 

- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。
- ポールは土壌のしっかりした場所に設置する。
※砂地などの土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどでポールの埋込部を固定してください。



2 器具と他の光源は1m以上離して取付ける
誤作動の原因になります。

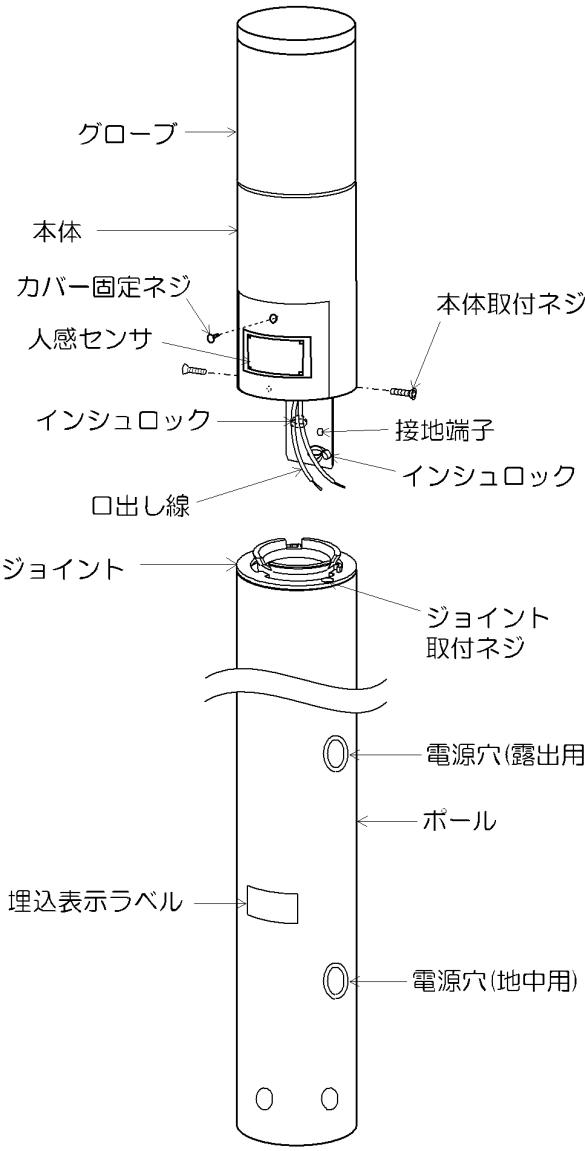
3 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

4 自動点滅器(デイトライトスイッチなど)との併用はしない
誤作動の原因になります。

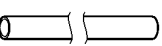
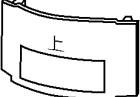
5 壁スイッチを設ける
誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

	ネカセ・・・・・・・・・・1本
	ゴムワッシャ・・・・・・・・2枚
	エリアカットマスク・・1枚

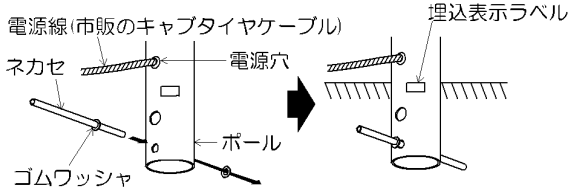
1 ケーブル保護管(別途)にパテ詰め
などの処理を行なう

電源線(市販のキャブタイヤケーブル)の長さはポールの長さよりも20cm程長くしておいてください。

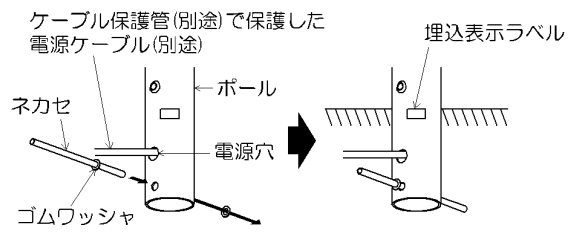
2 ポールを取付ける

- 電源線(市販のキャブタイヤケーブル)を電源穴からポールに通す。
- ネカセをポールに差し込んでゴムワッシャで止める。
- 埋込表示ラベルがかくれるまで埋め込む。

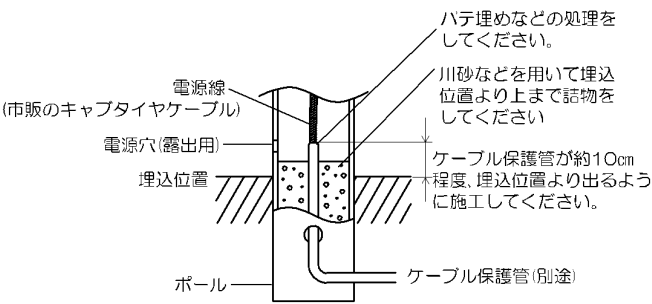
〈露出配線をする場合〉



〈地中配線をする場合〉

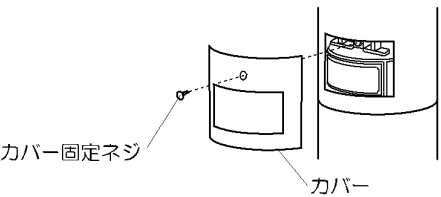


3 ポール下部の湿気対策を行なう
(下図にその一例を示します。)



4 カバーを取外す

カバー固定ネジをゆるめカバーを取外してください。



5 電源線を接続する

電源線と口出し線を確実に接続し、防水および絶縁処理を行なう。
インシュロックで電源線を本体に固定する。
電源線を引出しづらい場合は、ジョイント取付ネジをゆるめ、
ジョイントをはずしてから電源線を引出してください。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続および絶縁を確実に行ってください。

接続が不完全な場合は火災の原因になります。

電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

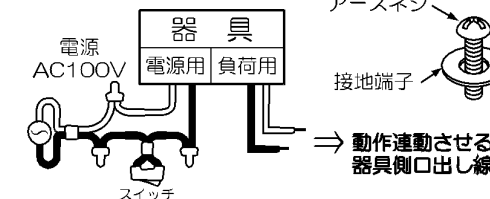
注) スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

＜基本接続＞



＜送り配線＞

※動作連動させる場合



※動作連動子機用の口出し線には絶対に電源線を接続しないでください。

動作連動子機との接続は、動作連動専用の口出し線のテープ部をカットする。

被覆をむき確実に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

インシュロックで送り電線を本体に固定する。

△警告 動作連動子機配線の接続は確実に行ってください。

接続が不完全な場合や動作連動子機配線が器具に接触した

場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

注) 壁スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

6 本体を取付ける

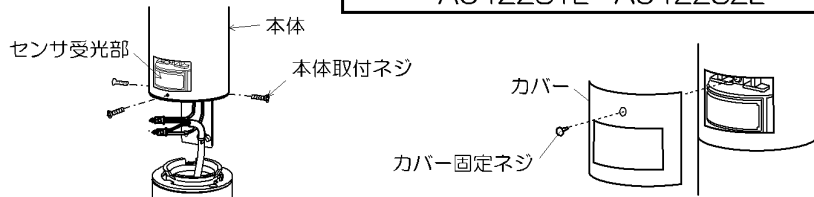
本体をボールに合わせ、本体
取付ネジで取付ける。

※取付けの際、センサ受光部を

持たないようにしてください。

カバーをカバー固定ネジで

ボールに取付ける。



7 点灯の確認を行なう

■センサの内容

＜センサの調整について＞

①壁スイッチをOFFにしてください。

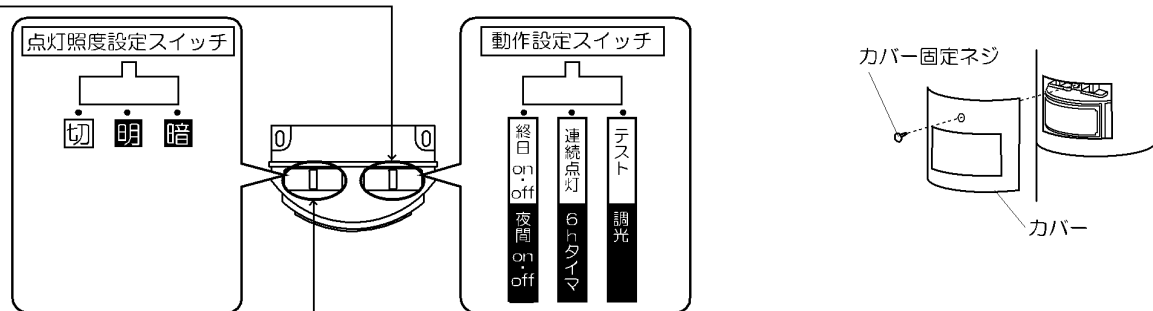
②カバー固定ネジをゆるめカバーを外し、点灯時間設定レバーにてお好みの点灯時間を設定してください。

③点灯照度を設定レバーで合わせ、センサの動き始める周りの明るさを決めてください。

④カバーをボールに合わせ、カバー固定ネジで固定し、壁スイッチをONにしてください。

注) 壁スイッチをONにした直後(約45秒)は、周囲の明るさに関係なくLEDが点灯しますが異常ではありません。

注) 壁スイッチは常にONにした状態でご使用ください。



動作設定 スイッチ	テスト 調光			連続点灯 6hタイマ			終日on-off 夜間on-off		
点灯照度設定 スイッチ	切	明	暗	切	明	暗	切	明	暗
設定内容	テストモード	調光モード 約45ℓ×で 点灯	調光モード 約15ℓ×で 点灯	連続点灯 モード	6時間 タイマーモード 約45ℓ×で 点灯	6時間 タイマーモード 約15ℓ×で 点灯	終日on- offモード	夜間on-off モード 約45ℓ×で点 灯できる状態	夜間on-off モード 約15ℓ×で点 灯できる状態

※センサが感知すると、約2分間点灯します。(テストモード、連続点灯モードを除く)点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

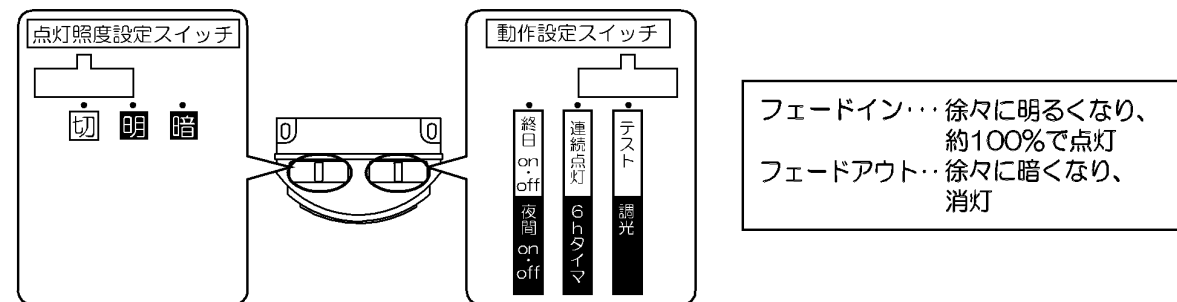
※スイッチの設定を変更した場合、壁スイッチを一旦5秒以上OFFにしてからONにしてください。誤作動する場合があります。

■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

テストモード

下図のように点灯照度設定スイッチを「切」に、動作設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と
感知エリアの確認を行なってください。



①電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感じることにより約5秒間点灯します。
結線および負荷の作動を確認できます。

②明るい時(昼間)でも人を感じする毎に約5秒間点灯します。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



●センサを動かして感知エリアを調整できます。

※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)

＜センサの調整について＞

①壁スイッチをOFFにしてください。

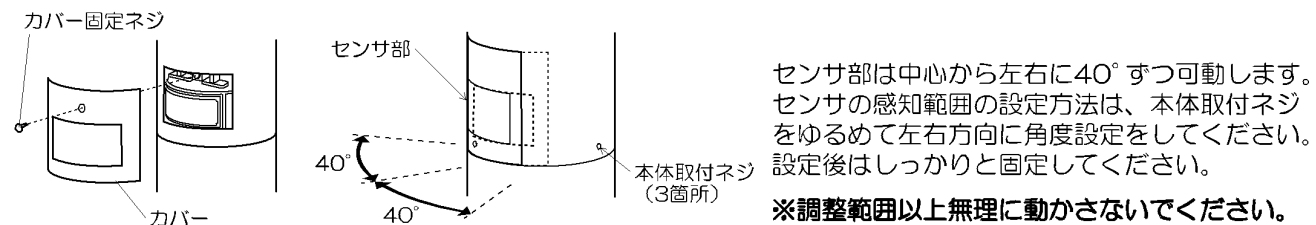
②カバー固定ネジをゆるめカバーを外し、点灯時間設定レバーにてお好みの点灯時間を設定してください。

③点灯照度を設定レバーで合わせ、センサの動き始める周りの明るさを決めてください。

④カバーをボールに合わせ、カバー固定ネジで固定し、壁スイッチをONにしてください。

注) 壁スイッチをONにした直後(約45秒)は、周囲の明るさに関係なくLEDが点灯しますが異常ではありません。

注) 壁スイッチは常にONにした状態でご使用ください。

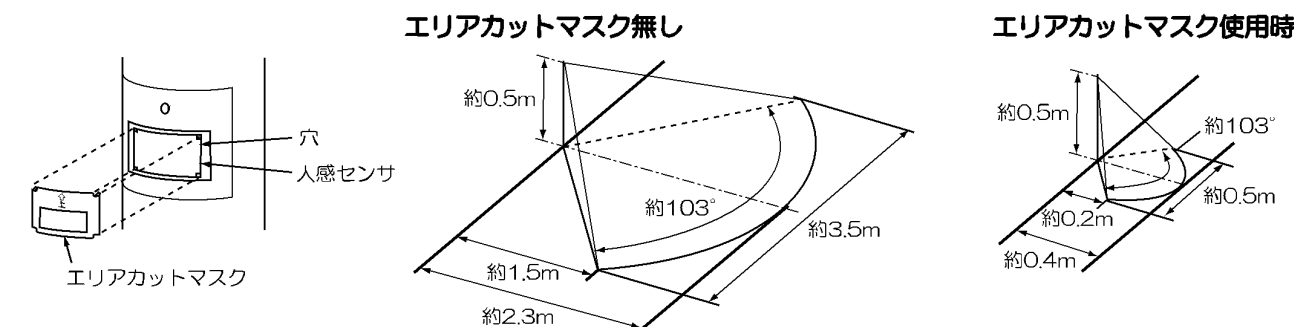


センサ部は中心から左右に40°ずつ可動します。
センサの感知範囲の設定方法は、本体取付ネジ
をゆるめて左右方向に角度設定をしてください。
設定後はしっかりと固定してください。

※調整範囲以上無理に動かさないでください。

●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。

エリアマスクの凸部をセンサの凹部に「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



※()内はエリアマスク使用時

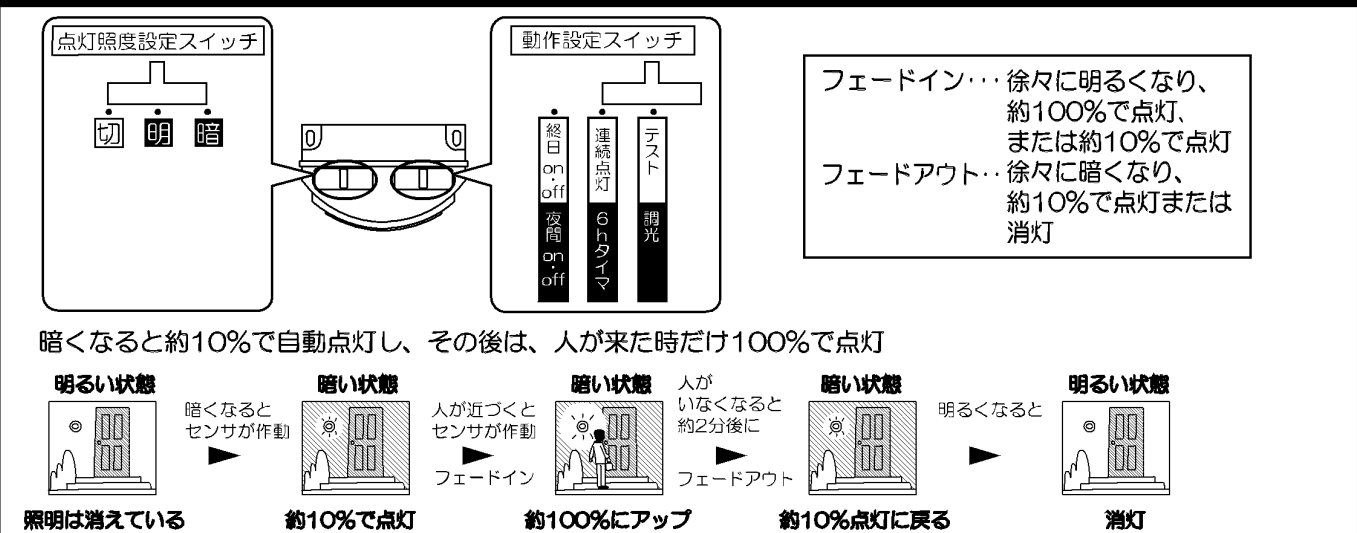
※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)

※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

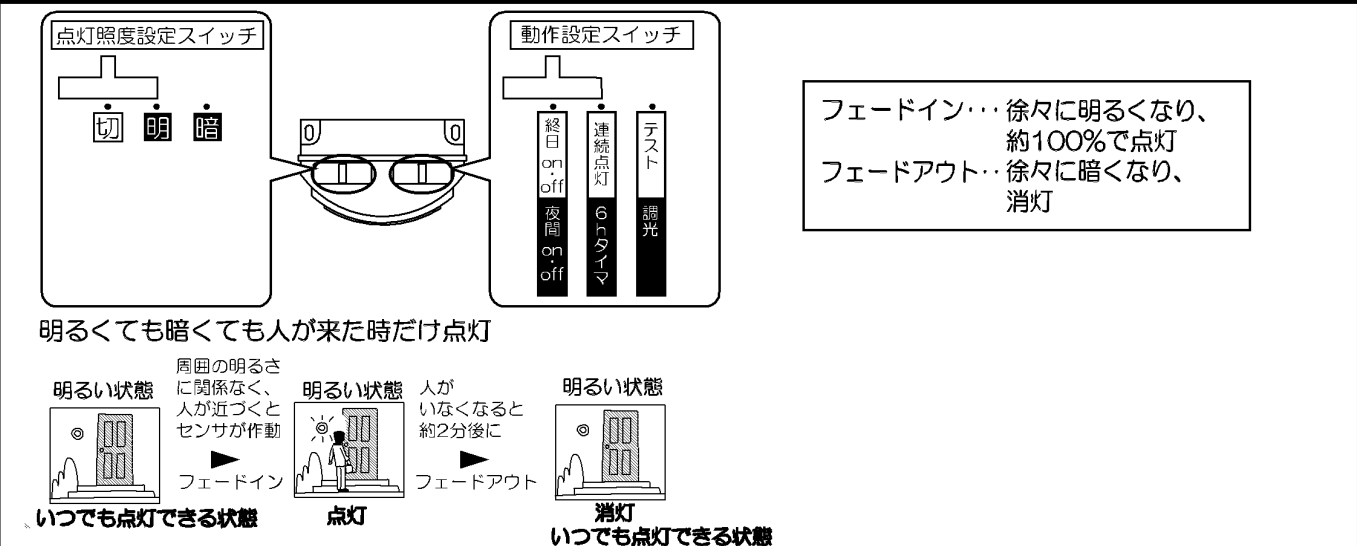
※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

■センサの設定
ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。

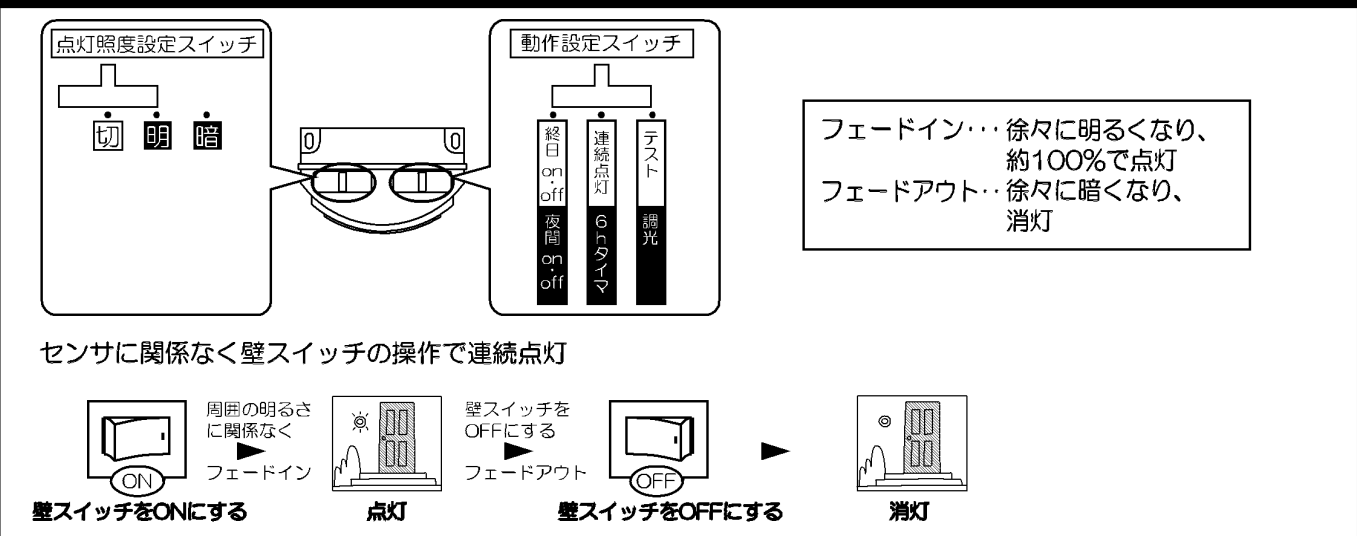
調光モード



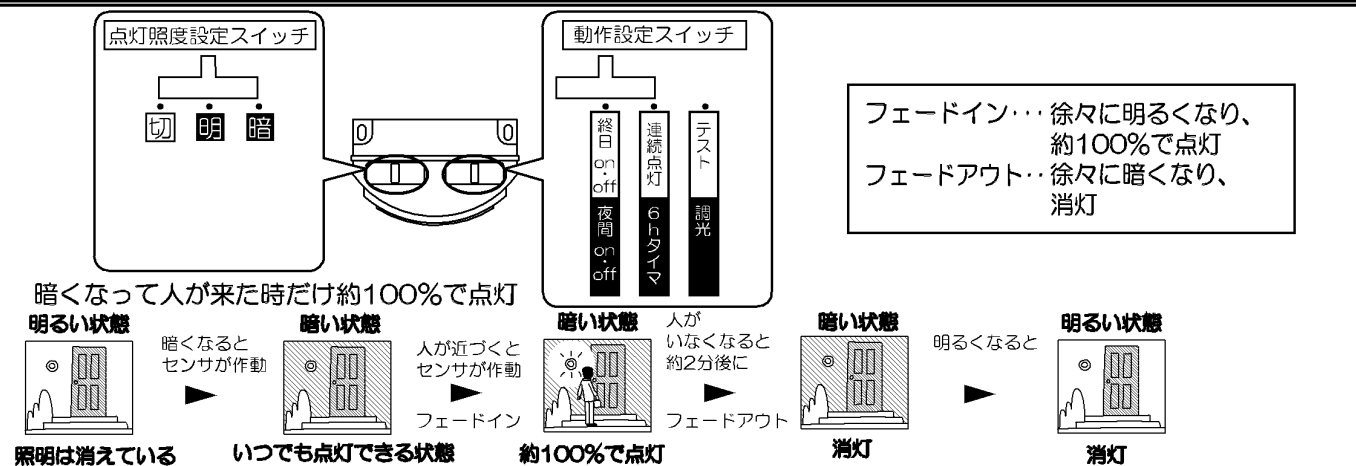
終日オンオフモード



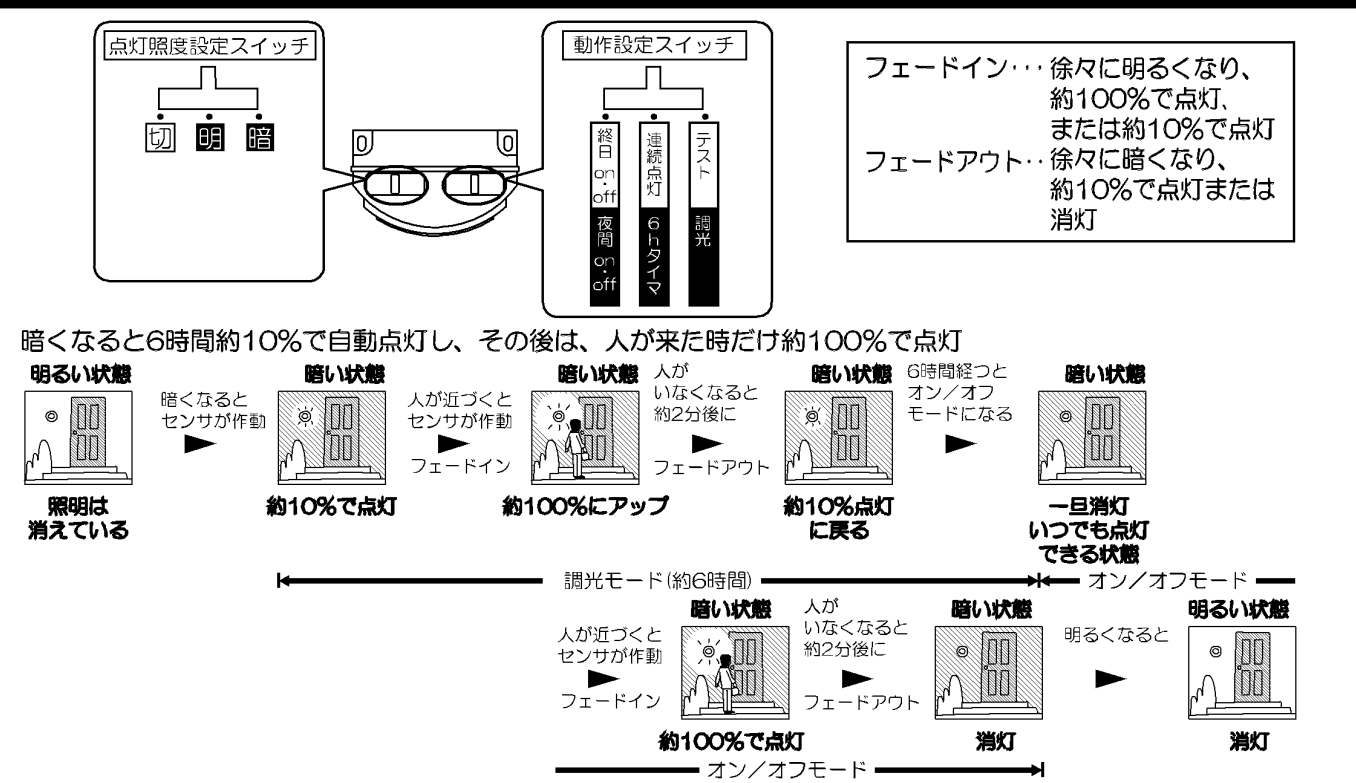
連続点灯モード



夜間オンオフモード



6時間タイマーモード



※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感じることにより約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦点灯し設定したモードになります。(連続点灯モードを除く。)
※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■グローブの取外し方 △注意 グローブの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 1 電源を切る
- 2 グローブを取外す
グローブを矢印方向に回して取外す。
- 3 グローブを取付ける

